

平成 18 年 8 月 教育委員会定例会会議録

1 開会の日時

平成 18 年 8 月 25 日（金）午前 9 時 00 分

2 出席委員

齋藤 道子 委員長
奥寺 康彦 委員
船山 道敏 委員
出光 ケイ 委員

3 欠席委員

田中 茂 委員（教育長）

4 出席説明員

教育長職務代理者（管理部長）	小林 繁
管理部総務課長	長澤 潤
管理部学校再編担当課長	奥田 幸治
管理部教職員課長	阿部 信行
管理部総合高校担当課長	井上 昭
管理部学校管理課長	高田 利男
生涯学習部長	三塚 勉
生涯学習部生涯学習課長	永塚 高行
生涯学習部学校教育課長	外川 昌宏
生涯学習部学校保健課長	田嶋 敏彦
生涯学習部スポーツ課長	大場 智和
生涯学習部美術館開設準備室長	原田 光
生涯学習部教育研究所長	渡辺 浩
生涯学習部中央図書館長	濱田 祐治
生涯学習部自然・人文博物館長	林 公義

5 傍聴人

なし

6 議題及び議事の概要

○委員長 開会を宣言

○委員長 本日の会議録署名人に船山委員を指名した

○教育長報告（教育長職務代理者 小林管理部長から報告）

平成 18 年 7 月 22 日から本日までの所管事項についてご報告いたします。

本年度は、平成 19 年度から平成 21 年度までの第 4 次まちづくり 3 カ年計画の策定年度であり、教育委員会から提出した事業計画案に対し、企画調整部ならびに財政部によるヒアリングが実施されている最中です。

8 月 1 日に、第 77 回都市対抗野球大会に出場する、本市代表の日産自動車を激励するための壮行会が開かれました。初戦は 8 月 27 日に太田市代表の富士重工業と東京ドームで対戦する予定です。

8 月 4 日に全国・関東中学校体育大会出場者激励壮行会がウェルシティで開かれました。ソフトボール、水泳、陸上競技、柔道など本年も多く選手が参加しました。野比中学校が関東大会の男子ソフトボールの部で優勝し、全国大会においてベスト 8 に入りました。

8 月 6 日の開会式を皮切りに、少年野球大会が始まりました。本年の参加は小学生 22 チーム、中学生 13 チームで、現在熱戦が繰り広げられております。

8 月 20 日、よこすか芸術劇場で、子どものための音楽会を開催しました。吹奏楽演奏や合唱等、多くの参加者があり、とても好評でした。

福岡県北九州市で開催された、第 20 回全日本小学生男子ソフトボール大会において、チーム横須賀が優勝しました。8 月 15 日には選手が副市長を表敬訪問いたしました。

以上で報告を終わります。

議案第 43 号 『横須賀美術館収蔵庫内絵画ラックほか備品一式整備計画について』

委員長 議題とすること宣言

（美術館開設準備室長）

議案第 43 号 横須賀美術館収蔵庫内絵画ラックほか備品一式整備計画についてご説明いたします。それでは、議案の 1 頁をご覧ください。本件の目的は、美術館収蔵庫に収蔵する美術品を効率よく安全に保管するための備品を整備するものです。購入する備品は、絵画ラック、中 2 階、壁面メッシュパネル、その

他収納棚となります。後ほど詳しくご説明いたします。買入価格は1億5,729万円となります。供給者は、株式会社岡村製作所横浜支店となります。

提案理由ですが、教育長に委任する事務等に関する規則、第2条第1項第4号の規定により、提案いたします。参考としまして、2頁に同規則条文を抜粋し掲載しております。

それでは3頁をご覧ください。まず、収蔵庫の位置ですが、美術館地下2階の中央に位置し、3つの部屋に分かれます。4頁に各部屋の概要を示しておりますのでご覧ください。収蔵庫1は、主に絵画を、収蔵庫2は、主に彫刻を保管します。保管庫は展覧会などのために他都市の美術館から借用する美術品を展示前に一時的に保管します。

5頁をご覧ください。主な購入備品のご説明をいたします。1の絵画ラックですが、収蔵庫の天井に取り付けたレールに、スチール製の網状のラックをつり下げる構造で、網状の面に絵画を掛けて保管します。このラックの大きさは幅約4.6m、高さ約4mで、これを計49台設置します。使用するときは、ラック本体を手動で引き出して、絵画を取り付けまたは取り外します。絵画ラックに保管できる絵画の数量は、絵画の大きさにもよりますが、仮に100号の絵画で換算すると約580点となります。寸法は異なりますが、形状は写真をご覧ください。

6頁をご覧ください。2の中2階ですが、室内の高さ約4.5mの収蔵庫を有効利用するため、約2mの高さにスチール製の床、手すり、階段を組み立てるものです。この、中2階の上部及び下部に作品を保管する棚類を設置します。収蔵庫1に約103㎡を、収蔵庫2に約42㎡を設置します。

7頁をご覧ください。3の壁面メッシュパネルですが、収蔵庫の壁面に網状のパネルを設置し、ここに大型の彫刻や絵画を取り付けることで、作品の転倒防止をします。取り付け場所にあわせた寸法のパネルを用意し、収蔵庫1に35面、収蔵庫2に31面、保管庫に3面を設置します。

8頁をご覧ください。その他収納棚ですが、資料のとおり6種、計90台を購入します。資料の写真のうち、右上のアーカイバルボックス収納棚ですが、アーカイバルボックスとは、デッサンや写真などの資料を保存する中性紙で作った箱です。この箱を載せる棚となります。これらの収蔵棚は、床に固定するか、他の棚と連結等を行い転倒防止するとともに、地震などの際、棚から美術品が落下しないように、棚段にはベルトやストッパーを取り付けます。

9頁をご覧ください。収蔵庫内備品配置図になります。なお、これらの備品は来年1月に設置する計画としており、その後、開館までの間に本市所蔵作品約4,500点を、現在保管してある民間の倉庫などから運び入れます。開館時における収蔵庫の収蔵率は、おおよそ3割から4割程度と想定しています。

以上、議案の説明を終わります。

(出光委員)

今回の買入れ経費約 1 億 5,000 万円の内訳はどのようになっているのか。

(美術館開設準備室長)

買入価格の内訳を説明いたしますと、絵画ラックが約 1 億 1,000 万円、中 2 階が約 1,100 万円、壁面メッシュパネルが 900 万円、その他の棚が 2,100 万円、施工費が約 400 万円である。例えば、内訳で最も高額な絵画ラックは、どの美術館にも同様のものが設置されているが、各美術館の収蔵庫の大きさや柱の位置などの構造により製品の規格が異なってくるため、既製品が存在し得ず、結果的に受注生産による製品となる。

(出光委員)

これらの備品は何十年単位で使用可能なのか。

(美術館開設準備室長)

説明でも申し上げたように、容量的にはオープン時で収蔵率は 3 割から 4 割程度である。今後 20 年から 30 年間は容量に問題はないはずである。耐久性は建物と同じくらいである。

(齋藤委員長)

製品の性格上、既製品がないとのことだが、見積もりは取ったのか。

(美術館開設準備室長)

入札により供給者は決定した。競争入札で 3 社から応札があり、8 月 23 日に開札した結果である。

他に質問、討論なく、採決の結果、議案第 43 号は「総員挙手」をもって原案どおり可決、確定する。

議案第 44 号 『平成 19 年度横須賀市立幼稚園に入園する園児の募集について』

委員長 議題とすること宣言

(学校教育課長)

議案第 44 号について、ご説明いたします。この議案は、平成 19 年度に横須賀市立諏訪幼稚園及び大楠幼稚園に入園する園児の募集について、お示しするものです。

初めに、募集人員及び入園資格ですが、両園とも平成 14 年 4 月 2 日から平成 15 年 4 月 1 日までに生まれた者で、募集人員は諏訪幼稚園が 25 名、大楠幼稚園が 35 名となっております。

選抜につきましては、別添の各幼稚園児募集要項に従って行います。募集期間は、平成 18 年 11 月 1 日（水）から 11 月 8 日（水）です。但し、祝日と土曜日及び日曜日を除きますので、実質は 5 日間となります。受付時間は、募集期間中毎日、午前 9 時から午後 4 時までです。選考日は 11 月 9 日（木）です。もし、応募者が定員を超えた場合には、当日抽選を行います。入園予定者の面接は 11 月 10 日（金）となっております。入園決定者の発表は、11 月 13 日（月）に行います。以上で市立幼稚園の園児募集についての説明を終わります。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

(出光委員)

抽選で選ばれないと面接を受けられないのか。また私立の幼稚園との保育料の差はどの程度なのか。

(学校教育課長)

園児の選考は抽選で確定する。面接を実施するのは、保育の方向性を決めていくために実施している。保育料については私立幼稚園の三分の一程度である。

(船山委員)

例年の応募状況はどの程度なのか。

(学校教育課長)

今年度については、諏訪幼稚園では定員 25 人に対し 23 名の応募があり、大楠幼稚園では定員 35 人に対し 40 人の応募があった。大楠幼稚園の定員を超えた 5 名については待機児童となっている。

(船山委員)

障害がある園児が入園すると、補助があると聞いたことがある。

(学校教育課長)

私立幼稚園では障害がある園児が1人以上在籍していると、国からの補助が出る。公立保育園では補助は出ないが、介助員制度のなかで障害がある園児の対応をしている。

(齋藤委員長)

募集要項については例年大きな変更がないと思うが、何か変更要望があるのか。

(学校教育課長)

幼稚園児募集要項に住所要件を明確にして欲しい旨の要望があり改正した。

他に質問、討論なく、採決の結果、議案第44号は「総員挙手」をもって原案どおり可決、確定する。

委員長 続いて報告事項を聴取することを宣言

『財団法人横須賀市生涯学習財団経営状況報告について』

(生涯学習課長)

それでは、財団法人横須賀市生涯学習財団の「経営状況説明書」についてご説明いたします。

1 ページをお開きください。17 年度事業報告のうち、一般会計事業の主なものについて説明させていただきます。「1 文化生涯学習活動支援事業」のうち、「(1) 文化生涯学習事業助成」につきましては、市内のグループ、個人が実施する文化事業及び生涯学習事業について、助成審査会の審査を経て、記載のとおり 19 件に対し助成いたしました。

2 ページをお開きください。「(2) 文化施設助成」は、文化施設助成要綱に基づき、横須賀の文化の創造に寄与すると認められる文化施設に対して、その運営に必要な費用の一部として、1 件 20 万円を助成いたしました。「(3) 市民文化祭協賛」は、公募部門入賞者 6 人に対して生涯学習財団賞を贈呈したほか、その他の協賛事業には、2 ページから 4 ページにかけ記載のとおり、財団賞を贈呈するほか、後援をいたしました。

5 ページになりますが「3 受託文化事業」は、横須賀市から委託を受け「(1)

第 58 回市民文化祭」から、6 ページの「(5) 第 7 回カジュアルコンサート」まで、記載のと通りの事業を実施いたしました。「4 受託生涯学習事業」につきましては「(1) 公民館運営事業」を 14 ページまで、記載のとおり、全公民館あわせ 198 事業を実施いたしました。利用状況などは記載のとおりであります。

15 ページ「(2) オープンスクール・大学開放講座」につきましては、総合高校や防衛大学校にご協力をお願いし、記載の講座を実施いたしました。

16 ページをお開きください。財団や生涯学習課などの各種事業については「まなびかんニュース」の発行やホームページにより、広く情報発信を行ないました。また、「5 文化生涯学習施設の管理運営」につきましては「生涯学習センター」「婦人会館」「万代会館」の管理運営業務を行ないました。

18 ページをお開きください。特別会計事業といたしましては、「1 市民大学事業」は、前期、後期のほか夏期特別講座をあわせ、記載のとおり 50 講座を実施いたしました。受講者数は 3,786 人となっております。「2 まなびかんクラブ事業」「3 文化普及啓発事業」につきましては記載のとおり実施いたしました。25 ページをお開きください。ただいま説明をいたしました事業にかかった「収支計算書総括表」になります。右端の「内部取引消去」△416,709 円は一般会計から特別会計に繰入を行なったものであります。一般会計、特別会計あわせた収入合計は 2 億 4,029 万 8,738 円で、当期支出合計は 2 億 3,354 万 4,842 円で、この差額 675 万 3,896 円が 18 年度への次期繰越収支差額となります。なお、17 年度事業及び決算については、47 ページに記載のとおり監事による監査を受け適正な執行が認められているほか、理事会においても承認されておりますことをご報告いたします。

続きまして 48 ページをお開きください。平成 18 年度事業計画になりますが、記載のと通りの事業を指定管理者として実施をしております。

これらの事業、予算につきましても、3 月に開催されました理事会において承認され、順調に事業を執行しております。

以上で財団法人横須賀市生涯学習財団の経営状況説明書の報告とさせていただきます。

(奥寺委員)

最近の生涯学習財団による事業の傾向は。

(生涯学習課長)

市民大学などへの応募率は高く、毎年講座数を増やしている。

(奥寺委員)

今後の事業展開はどのように考えているのか。

(生涯学習課長)

講座数を増やすことは、事務処理の問題も含め限界があるので、現状では受講者の満足度の向上に努めていきたい。

他に質問はなく、次の報告事項を聴取。

『公民館と自治活動センターの融合に関する協議について』

(生涯学習課長)

「公民館と自治活動センターの融合に関する協議について」横須賀市長より横須賀市教育委員長あて依頼文書をいただきましたので、ご報告させていただきます。

横須賀市では、新たな行政課題に対応していくため、時代に合った新しい視点に立った行政改革を進めることが必要と考え、新たな「行政改革大綱」を策定し、その内容を着実かつ集中的に推進するための具体的な取り組みを示した計画として、平成18年3月に「集中改革プラン」としてまとめた中で、地域コミュニティ活動の充実の観点から、各行政センターに併設されている公民館と地域に設置した自治活動センターの管理運営について見直しをすることを盛り込んでおります。平たく言いますと、現在、教育委員会の所管施設であります社会教育施設である「公民館」機能を損なわずに、市長部局である行政センターに所管を移し、さらに自治活動センターもその活動のために有効利用し、市民の身近にあるこれら施設の効率的な管理運営を実現しようとするものであり、平成20年度の実施に向け、今後、教育委員会と協議をしていきたいと思いますという依頼であります。

参考として、2枚目につけてあります「集中改革プラン抜粋」の行政センター機能の見直しに、現状と実施内容が記載されておりますので、後ほどお目とおしいただきたいと存じます。

以上で報告を終わります。

特に質問はなく、次の報告事項を聴取。

『教育委員会所管プール排水口について』

(スポーツ課長)

教育委員会所管プール排水口について報告をさせていただきます。

埼玉県ふじみ野市営流水プールでの事故を受けまして、本市においてもあらためてプール点検を実施いたしました。資料をご覧ください。文字・表が小さくて見づらく申し訳ございません。

文部科学省点検調査の関係もあり、3期にわたり実施いたしました。1次点検は、排水口の蓋の固定について実施、結果は、蓋固定のためのネジが緩んでいた学校が2校、ねじがなかった学校が1校あり、即日修繕し、蓋固定の確認をしました。2次点検は、排水口蓋に加え、「可能な限り」という条件の下、排水口蓋の下にあります「吸い込み防止金具の点検」まで行いました。全プールとも、シーズン真っ最中で、一般開放及び部活動等で毎日使用されているため、市教育委員会としては、市民に不安を与えず、またご利用いただいている方々への影響を最小限に抑えることを念頭に、万全を期して安全管理体制を整え、継続利用をさせていく方針で、水を抜かずに点検作業を行いました。

水中での作業であり、第2次点検では、残念ながら排水口の蓋が開かない、外から見えない等で「27校」が確認できませんでした。表中の2次点検で「△」で示した学校であります。

文部科学省調査の「吸い込み防止金具：未設置校報告」では、県教育委員会ご指導の下、確認とれなかった学校も含め、「40校」といたしました。

第3次点検では、消防局レスキュー隊の協力を得て、確認が取れなかった学校を対象に「吸い込み防止金具」点検を実施いたしました。

結果、教育委員会所管プール55学校及び3施設において、「排水口の蓋の固定」は確認、そして「吸い込み防止金具」については、未設置校が21校判明いたしました。資料、右下の表の通りです。

今後、教育委員会としては、来シーズン開幕前までに「吸い込み防止金具」を全校設置する予定であります。

以上報告いたします。

(奥寺委員)

思いがけない事項で問題は発生する。教育委員会は数多くの施設を所管していることから、常日頃から保守点検などの管理は徹底して欲しい。

(齋藤委員長)

子どもがシュレッダーに指を巻き込まれる事故があった。危険は日常に潜んでいるものであり、教育委員会としても常日頃から危機管理については細心の注意を払っていただきたい。

(出光委員)

子どもは駄目だと言われていても、好奇心のまま動くことがある。もちろん学期明けに指導をされていることとは思うが、学校の指導をヒントに事件を思い付いた事例もあると聞いている。実体験に基づいた指導をおこなうことで、注意喚起を促すことも一考ではないか。

他に特に質問はなく、日程は終了した。

7 閉会及び散会の日時

平成 18 年 8 月 25 日 (金) 午前 10 時 00 分

横須賀市教育委員会

委員長 齋藤道子